

唐原子供神楽 修験道トレイル前夜祭

11月18日(土)、ゆいぎららで行われた「修験道トレイル」の前夜祭で子供神楽を舞わせて頂きました。

舞台は、旧西友枝小学校の教室です。室内、廊下とも超満員のお客さんに、いつもとは違う環境の為か、「御先」を舞う5歳コンビは少し緊張の様子。しかし、彼らは小さいながらも神楽舞。お囃子が始まるとキリッと顔が引き締まり、神楽を舞うことができました。小さな鬼さんは、道先案内の神様「猿田彦」。「選手の皆さんが道に迷いませんよーに！」と一生懸命舞いました。

大会当日は、多くの選手の皆さんが道に迷うことなく、無事ゴールされたようで何よりです。沢山の拍手ありがとうございました。また、遠方の方々に神楽の文化を紹介する機会をあたえてくださった関係者の皆様、ありがとうございました。

●問い合わせ先 TEL 090-9601-3912(宮本)



11月19日(日)、山頂では小雪がちらつく寒い中、第2回目となるトレイルランニング大会「修験道トレイルin上毛町」が開催されました。この大会は、上毛町の修験文化と里山資源を生かし、町への新しい人の流れをつくることを目的として平成28年度から開催されています。今年の大会には180名を超える選手の方々が参加しました。

コースは、ゆいぎららをスタートし、松尾山・雁股山・大平山・巢狩山を目指し、東上(津賀)を抜け、西友枝(小畑・渡瀬)に下りてくる約31kmのコース。

コース上の、東上中造に設置されたエイドステーションには、キッチン工房 棚成由加里さんのご協力により、山菜おこわやお赤飯のおにぎり、フルーツサンドやアップルパイ、お芋のお饅頭やはちみつレモンなど手づくりの食べ物がたくさん並べられました。

また、東上1区自治会・東上区会の皆さんには、選手の方々への振る舞いにご協力いただき、エイドステーションは大賑わいでした。

選手の皆さんは「地元の方々の温かさが伝わってくる」「手づくりのエイド食が美味すぎて、後ろ髪引かれながら再スタートしました」など大変喜ばれ、たくさんあったエイド食も、すっかりたいらげられてしまいました。

地域の皆さん、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

